

野田 正人

元家裁調査官、前任校から立命館大学に来て10年が過ぎました。学校や児童自立支援施設などでの非行少年や被虐待児童の支援を考えています。スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、学校での生徒指導のバックアップなどを行っています。

1. 専門演習の目標

ゼミのテーマの範囲内で、特に関心のある事象について各自で課題を見つけ、それに関して協働して調査研究を行う。

また、福祉や教育分野など子どもの専門職をめざす水準で具体的実践までを議論する。

2. 専門演習で扱う課題と内容

いじめ、非行、不登校、児童虐待 などへの支援機関と支援内容。

特に心理臨床、ソーシャルワーク、法的支援などを総合的に検討する。

スクールソーシャルワークやカウンセリング、司法福祉分野などの具体的実践につながる内容を扱う。

3. 授業の進め方・内容

3回生前期 基本事項の学習と各自の関心領域の明確化。関係機関見学。

3回生後期 各自の課題に関する基本事項の整理と調査。

4回生前期 各自の研究を深める。

4回生後期 各自のテーマをまとめる。

4. 必要とする知識

非行と児童虐待に関する基礎的知識と、子どもを守りたいという温かいハート。

5. 関連する分野・科目・知識

心理学、法学、ソーシャルワークなどに関係するが、ゼミ内で学習も行う。

6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

特に無し。主として文科省・厚労省・法務省のホームページからダウンロードできるものを活用する予定。

7. 独自に付加する選考方法

特に予定していない。

8. 受講生に望むこと

各自多忙でも、ゼミの運営に関する役割分担には応分の責任をもつこと。休むときは連絡する。